

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/05/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.21	-0.13
JPY/THB	0.2330	-0.0016
USD/JPY	155.39	0.51
EUR/THB	39.35	-0.20
EUR/USD	1.0867	-0.0017
USD/CNH	7.223	0.005
SGD/THB	26.90	-0.11
AUD/THB	24.18	-0.15
USD/INR	83.50	0.00
USD Index	104.46	0.12

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.475	-0.041
10Y (THB)	2.731	-0.026
5Y (USD)	4.399	0.054
10Y (USD)	4.375	0.035

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,385.5	-9.4
WTI (Oil)	79.23	0.6
Copper	10,424.0	205.0

Stock

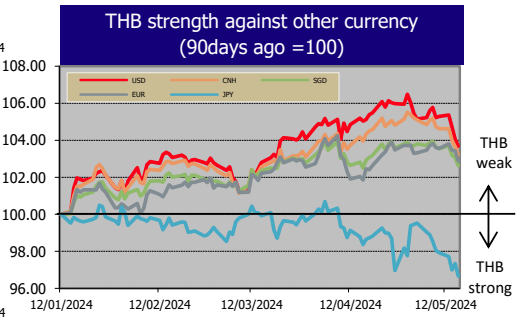
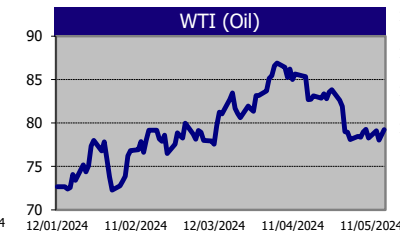
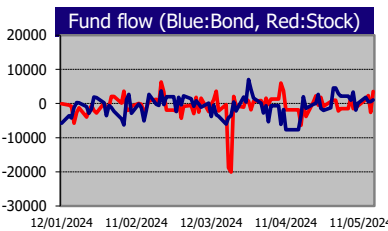
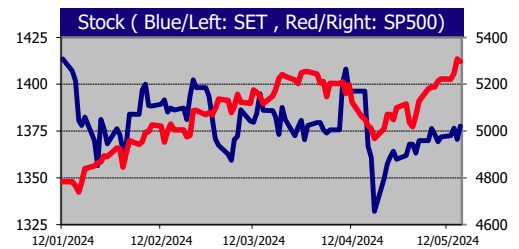
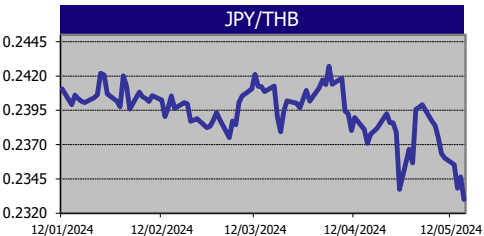
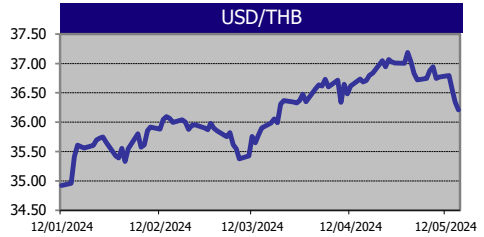
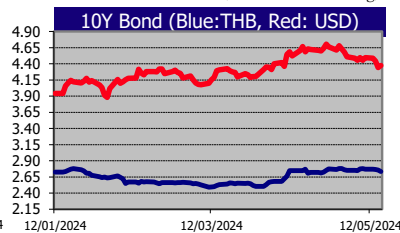
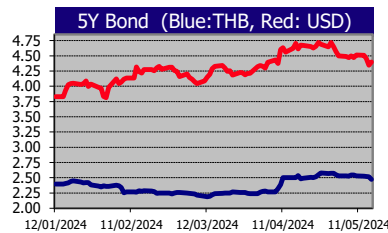
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,377.72	7.28
NIKKEI (JP)	38,920.26	534.53
DOW (US)	39,869.38	-38.62
S&P500 (US)	5,297.10	-11.05
SHCOMP (CN)	3,122.40	2.50
DAX(GER)	18,738.81	-130.55

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,566	6203.9
Bond net flow	1,084	500.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に下落。36パーツ台前半で取引を開始すると、前日海外時間からのドル売りの流れが継続し、バンコク時間正午にかけて36パーツ手前付近まで下落。ただ、同水準では動きも一巡し、米金利が上昇に転じる流れを横目にドルパーツも次第に戻す展開に。Fed高官の「現行水準の政策金利をしばらく維持する」旨の発言も相俟ってじりじりと値を戻し、結局36.21レベルでクローズを迎えた。なお、ピチャイ・タイ新財務相とセタブット・タイ中銀総裁が会談し、バンコク時間正午過ぎにはその内容が伝わったものの、相場への影響は限定的なものとなっている。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落の流れが一巡、上昇に転じた。154円台前半で取引を開始すると、前日海外時間からのドル売りの流れを引き継ぐ格好で一時153円台半ば付近まで下落。ただ、低下していた米金利が上昇に転じる動きを背景にドル円も反転。海外勢が参入してくると上昇の流れは一層加速する展開に。途中、米経済指標の軟調な結果が伝わるも、相場への影響は限定的となり、一時155円台半ば付近まで上昇。終盤にかけてはやや弱含むも、155円台前半の同日高値水準付近を維持しながら155.39レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

注目された米4月CPIは、食品とエネルギーを除くコアベースで前月比の伸びが6カ月ぶりに鈍化した。また、同日発表された米4月小売売上高は、前月比横ばい、その前の2カ月は伸び率が下方修正され、消費者が慎重姿勢を強めていることが示唆された。これら経済指標の軟化を受けて、米金利が急低下、年内の利下げ開始を検討する可能性も残された。昨日もFRB高官らの発言が相次いだ、いずれも政策金利をより長く高水準に維持するべきだという考えで一致している。クレーブランド連銀のメスター総裁は、「現時点で景気抑制的なスタンスをより長く維持することが賢明だ」、ニューヨーク連銀ウィリアムズ総裁は、「政策金利を調整するにはさらなる証拠が必要だ」、リッチモンド連銀バーキン総裁は、「インフレ率が持続的に2%に達成するにはもう少し時間がかかる」といづれのFRB高官発言も高金利を維持する必要があるとの考えをした。本日は、ウォラーFRB理事、投票権を持つサンフランシスコ連銀の講演、スピーチが予定されている。(前川)